

平成21年度第1回 宮城県行政評価委員会

日 時：平成21年4月13日（月曜日）

午後2時から2時30分まで

場 所：宮城県庁行政庁舎4階 庁議室

平成21年度第1回 宮城県行政評価委員会 議事録

日時：平成21年4月13日（月） 午後2時から2時30分まで

場所：宮城県庁行政庁舎4階 庁議室

出席委員：星宮 望 委員 堀切川一男 委員 成田由加里 委員
林山 泰久 委員 増田 聡 委員

欠席委員：浅野 孝雄 委員 橋本 潤子 委員

司 会 ただいまから平成21年度第1回宮城県行政評価委員会を開催いたします。開会に当たりまして、佐藤企画部長よりごあいさつを申し上げます。

企画部長 本日はお忙しい中、平成21年度第1回宮城県行政評価委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には、この度、当委員会の委員就任を快くご承諾いただきましたこと、重ねて厚くお礼申し上げます。

宮城県では、平成13年に全国に先駆けて「行政活動の評価に関する条例」を制定し、行政評価を本格的に実施してまいりました。その行政評価制度も今年度で8年目を迎え、現在、県行政の中にしっかりと定着してきたと感じており、また、その役割についても、今後一層重要なものになると考えております。

委員の皆様には、県が自ら行う評価につきまして、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。私どもとしましても、この場で頂戴したご意見につきましては、真摯に受け止め、行政評価を通じ、県民の視点に立った成果重視の行政運営の推進につなげてまいりたいと考えております。本日は委員改選後の最初の委員会でありますので、当委員会の委員長等を新たに選出させていただくこととなっております。委員の皆様には、委員長等の選出について互選いただきますとともに、決まりました新委員長のもと、今後一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、開会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。

司 会 本日は、5名の委員にご出席いただいております。行政評価委員会条例の規定による定足数を満たしておりますので、会議は有効に成立しておりますことをご報告いたします。

なお、浅野委員及び橋本委員におかれましては、本日所用のため欠席される旨のご連絡をいただいております。

次に、初めての委員会となりますので、お手元にお配りしております次第裏面の出席者名簿の順に、ご出席の皆様をご紹介させていただきます。成田由加里委員です。

成田委員 成田でございます。よろしくお願いたします。

司 会 林山泰久委員です。

林山委員 林山でございます。よろしくお願いいたします。

司 会 星宮望委員です。

星宮委員 星宮でございます。よろしくお願いいたします。

司 会 堀切川一男委員です。

堀切川委員 堀切川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

司 会 増田聡委員です。

増田委員 増田でございます。よろしくお願いいたします。

司 会 次に、宮城県の出席者をご紹介します。ただいまご挨拶申し上げました企画部の佐藤部長です。

企画部長 よろしくどうぞお願いします。

司 会 同じく北村次長でございます。

企画部次長 北村でございます。

司 会 伊東政策課長でございます。

政策課長 伊東と申します。よろしくお願いいたします。

司 会 鹿野行政評価室長でございます。

行政評価室長 鹿野でございます。よろしくお願いいたします。

司 会 それでは、これより議事に入ります。委員長が選任されるまでの間、企画部長が仮の議長となり議事を進めさせていただきたいと存じます。佐藤企画部長よろしくお願いいたします。

企画部長 それでは、議長が選任されるまでの間、仮議長を務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

これより議事に入ります。はじめに、議事録署名委員を指名します。名簿に記載の順に従いまして、今回は、成田委員、林山委員にお願いします。

(両委員了承)

それでは、成田委員、林山委員よろしくお願いいたします。

次に会議の公開についてですが、当委員会運営規程第5条に基づき、当会議

は公開とします。傍聴に際しましては、本会場に表示しております「宮城県行政評価委員会傍聴要領」に従うようお願いいたします。また、写真撮影、録画等につきましては、事務局職員の指示に従い、会議の妨げにならないようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。議事（１）の「委員長及び副委員長の選出について」ですが、資料１の「行政評価委員会条例」をご覧ください。第３条の規定により、「委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって定める」とされております。

まず、委員の皆様方から委員長のご推薦等がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。林山委員，お願いします。

林山委員 前年度まで行政評価委員会の委員長を務めていただいていた星宮委員にお願いしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

企画部長 ありがとうございます。ただいま星宮委員を委員長にご推薦したいという意見がございましたが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

よろしいでしょうか。星宮委員もよろしいでしょうか。

（星宮委員より「了解しました」の声あり）

それでは、皆様異議なしとのことですので、星宮委員に委員長をお引き受けいただきしたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、副委員長の選任に入りたいと思います。副委員長につきましてご推薦どなたかございましたらよろしく申し上げます。成田委員，どうぞ。

成田委員 堀切川委員にお願いしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

企画部長 ありがとうございます。ただいま堀切川委員を副委員長にご推薦したいというご発言がございましたが、皆様いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

堀切川委員もよろしいでしょうか。

（堀切川委員より「了解しました」の声あり）

皆様異議なしとのことですので、堀切川委員に副委員長をお引き受けいただきしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。行政評価委員会条例第４条の規定により、ここからは星宮委員長に議長をお願いしたいと存じます。委員長及び副委員長には、正面の席にお移りいただくようお願いいたします。

（星宮委員長，堀切川副委員長 席移動）

星宮委員長 ただいま委員長にご指名をいただきました星宮でございます。先ほど企画部長からお話がありましてとおり、宮城県は全国的にも早くから評価に取り組んできたという実績がございますので、それを引き継いでいくに当たり、大変責任が重いと思っております。是非とも皆様のご協力の下、しっかりした審議を行っていきたく

思いますので、よろしくお願いいたします。

私自身は仙台の出身でございますが、長年東北大学の工学研究科で仕事をしております。平成16年に定年になった後、東北学院大学に学長として以降務めております。東北学院大学は私の中学・高校の母校ということもございますので、地元仙台、宮城県と近いところにおりますので、地域貢献ということに対してもなお一層努力したいと思っております。前年度、当委員会に関係させていただいたこともあり、今回委員長を引き受けさせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

では、次第に従って議事を進めてまいります。

議事(2)の「委員及び部会委員の所属部会の指名、部会長及び副部会長の指名について」ですが、資料1をご覧ください。このことは、「行政評価委員会条例」の第6条第4項及び第5項の規定に基づき、委員長が各委員及び部会委員の所属部会、部会長及び副部会長を指名することとなっております。

この件につきまして、私から委員及び部会委員の所属部会、各部会の部会長及び副部会長を指名いたします。

では、こちらの資料を配付願います。

(事務局より各委員へ資料配付)

ただいまお手元にお配りさせていただきました資料のとおり、政策評価部会には堀切川部会長、成田副部会長、大規模事業評価部会には、増田部会長、浅野副部会長、公共事業評価部会には、林山部会長、橋本副部会長でお願いしたいと思いますですがよろしいでしょうか。

(各委員了承)

それでは、よろしくお願いいたします。

予定していた議事は以上ですが、委員の皆様、他に何かございますか。

企画部長、何かございますでしょうか。

企画部長 冒頭申し上げましたとおり、現在、財政が非常に厳しく、今後はいろいろなことを同時に行うことが難しくなっております。その意味で、行政評価を透明性のある分かりやすいものにして、県民の皆様にお知らせしていくことが前にもまして重要なことになってくると思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

星宮委員長 委員の方々からも何かご発言をいただければと思います。林山委員からお願いします。

林山委員 私は昨年度まで大規模事業評価部会の部会長を務めさせていただいておりましたが、今年度からは公共事業評価部会の部会長を務めさせていただくこととなりました。私の専門性をできる限り生かし、貢献できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

星宮委員長 ありがとうございます。成田委員、お願いします。

成田委員 正に今、より透明性を求められる時代になってまいりましたが、私たちがど

のようにして次世代に残していくかという重要なターニングポイントにいるのではないかと考えております。それを肝に銘じながら務めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

星宮委員長 ありがとうございます。副委員長，お願いします。

堀切川副委員長 県に関連しました仕事はあまり行っていないのですが，産業振興審議会の委員を務めさせていただいております，仙台市の方では地域連携フェローという仕事を6年間務めさせていただいております，その仕事が非常に大変でして，この行政評価委員会委員のお話をいただいた時は，どうやって断ろうかと考えたのですが，私のキャッチフレーズが「地域に根ざし世界を目指す」としているものですから，地域から来た話を断るわけにはいかないということでお引き受けした次第でございます。初めて引き受けさせていただくわけで，相当ご迷惑をおかけすることがあると思いますが，あくまでも県民のためという目線では恐らく一緒だと思いますので，よろしくお願いいたします。

星宮委員長 ありがとうございます。増田委員，お願いします。

増田委員 東北大学の増田です。以前に私も大規模事業評価部会の委員を務めさせていただいておりましたが，昨年度は海外に行っておりましたので，久しぶりに県の仕事に携わることになりました。また，是非よろしくお願いいたします。

星宮委員長 どうもありがとうございました。

私は先ほどご挨拶申し上げましたけれども，専門は電子工学で，特にメディカルエレクトロニクスを専攻しておりますので，宮城県の産業に直接というのはなかなかないのですが，元々工学部で，産学連携等ということについては，周辺では行っておりました。特に東北大学の電気系というのは，以前からそのような産学連携に熱心なところでございました。東北学院大学も地元根ざしておりますので，村井知事の富県宮城の審議会の会長もさせていただきましたので，宮城県を県民のために居心地の良い明るい県にしていくためには，皆さんと一緒にやっていきたいと思っておりますので，どうぞよろしくお願いいたします。

以上で，本日の議事を終了いたします。ありがとうございます。

司 会 星宮委員長，どうもありがとうございました。次に，次第5の「その他」について，事務局より本日の日程についてご説明いたします。

この後，午後2時30分から，引き続き，行政評価委員会を三つの部会と合同で開催させていただきたいと思っております。会場は，この部屋の隣の特別会議室になります。係の者がご案内しますので，ご移動をお願いいたします。また，お手元のお荷物については，お持ちいただくようお願いいたします。

ただいまの件について，ご質問などございませんか。

(質問なし)

それでは，行政評価委員会を一旦休会とさせていただきます。それでは，特別会議室へご移動をお願いいたします。

宮城県行政評価委員会

議事録署名人 成田 由加里 印

議事録署名人 林山 泰久 印